

指示を受けるときの基本姿勢②
自分の頭で考えようとする

「言われたことだけやる人」とは

考えて行動する人

→ 信頼される優秀な人材

言われたことだけやる人

→ 「**指示待ち族**」

指示待ち族とは

『指示待ち族』の特徴

- ・ 事細かな詳細がないと動けない
- ・ 教わったことがないから出来ませんという態度
- ・ 責任回避が習慣になっている

⇒ 指示が上手い上司からの指示は動けるが指示があいまいな場合は**思考停止**に陥ってしまう。

『指示待ち族』は

上司の背景を理解したり、組織目線に立つことが出来ていない

⇒ 部下は**自分で考えて**
仕事を進めることが重要

自分の頭で考えるためには

- ・ 前後の文脈から意図を汲み取ろうとする
- ・ 上司任せにしない
- ・ 工夫やアイデアによって最善を尽くそうとする

**これらの姿勢を身につけることができれば
上司にとって、「助かる存在」になる**

指示とは答えをもらうものではなく

ヒントをもらうものであると考え、
質問やすり合わせをした上で仕事を進める

次回の学習テーマ：

考えることが必要となる指示の種類